

## 作品の概要

### ■成田国際空港で活躍する麻薬探知犬

成田国際空港では、毎日約500機の旅客機が離着陸し、約9万人の旅行客が利用している。

その中で、この作品の主人公、麻薬探知犬が旅行客の荷物に目を光らせ、鼻を利かせて乱用薬物を探している。麻薬探知犬が覚せい剤や大麻などを発見し、摘発した件数は年々、増加している。では乱用薬物とは、どのようなものだろう。以下、麻薬探知犬の声で語っていく。

### ■乱用薬物ってどんなもの？乱用するとどうなるの？

薬物といっても、身体の病気を治すためのものと、身体に害を与えるものがある。身体に害を与えるものは乱用薬物といって、法律でも厳しく禁止されている。薬物を遊びで使ったりすることを薬物乱用という。一回でも乱用薬物に手を出したとすると、身体にどのような影響がでるのだろう。

ここでは分かり易い図解で、乱用薬物は正常な脳をおかしくしてしまうこと、そして、繰り返し、繰り返し、乱用薬物を使ってやめられなくなる「依存」を引き起こすことを説明していく。

川崎ダルクを訪ね、薬物依存を体験した人から、実際、身体にどのような影響がでてきたかも聞き出していく。

### ■なぜ薬物に手を出したの？

薬物依存の体験者に、どのような事がキッカケで乱用薬物を始めたのかを語ってもらおう。乱用薬物を始める人は、最初は遊び半分タバコや酒、そしてシンナーをやり始めていること、又、乱用薬物を使い続けていると幻聴や幻覚などが現れることなど、乱用薬物の恐怖が伝わってくる。

### ■乱用薬物に対しては外国でも厳しく罰せられる

最近、外国のある国では、日本の若者がトラックに乱用薬物を隠し、次々に逮捕されている。日本の若者は、どのようにして乱用薬物の運び屋になったのだろうか。逮捕した若者を調べている検察庁を訪ね、聞いてみる。外国の乱用薬物の売人は海外旅行や留学中の若者を狙い、小遣いやプレゼントを渡して親しくなり、乱用薬物の運び屋にしようとしているのだ。外国では乱用薬物を海外

へ持ち運ぼうとすると、無期懲役、死刑になることだってあることを訴える。

### ■薬物の正しい知識を身につけよう

小学生の周りにも乱用薬物の誘惑のワナがいっぱいある。乱用薬物を近づけないためには正しい知識を身につけることだ。ここでは、数名の小学生が、東京税関の情報ひろばを訪ね、乱用薬物について学習している姿を捉えていく。

ある小学校では、麻薬探知犬が訪問し、乱用薬物には、絶対に手を出さないようにと訴えている。

監修 国立大学法人兵庫教育大学大学院  
学校教育研究科教授 鬼頭英明

指導 財団法人日本学校保健会  
事務局次長 並木茂夫  
前・埼玉県川口市立十二月田中学校  
教諭 佐藤恵子

取材協力 東京税関  
川崎ダルク支援会  
仁川空港税関  
仁川地方検察庁

資料提供 関東信越厚生局 麻薬取締部

製作統括・監督 高木裕己

撮影 堀田泰寛  
淵上 拳／高橋哲也

韓国撮影 權 彝 (Kwon Lee)

制作・著作 株式会社映学社

■ ライブラリー価格 ¥68,250円(税込)

■ 学校価格 ¥26,250円(税込)

■ VHS・DVD [カラー約21分]

■ 2010年・映学社作品

● お問い合わせ、お買い上げは……

 株式会社映学社  
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-15-2池与ビル3F  
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024  
<http://www.eigakusya.co.jp/>